

# 2025年2月期 第2四半期決算説明資料

2024年10月10日  
株式会社 **セイヒョー**

- 1. 2025年2月期 第2四半期決算概要**
- 2. 2025年2月期 業績見通し**
- 3. 当社における成長戦略**
- 4. 中期経営計画について**
- 5. 株主還元（配当・株主優待）**
- 6. トピックス**

# 1. 2025年2月期 第2四半期決算概要

- ◆ 売上高 2,820百万円 (前年同期比0.1%増)
- ◆ 営業利益 183百万円 (前年同期比41.6%増)

- 売上高については、主力のアイスクリーム部門が好調に推移し、前年同期比で0.1%増加  
引き続き新規取引先の開拓や既存取引先への拡販等に注力  
仕入販売、和菓子、物流保管は横ばい
- 原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まりは続いているものの、販売価格の改定や原価低減活動により製造ロスが減少したことで利益率が改善し、営業利益183百万円(前年同期比41.6%増)を計上。前期比で増収増益を達成

	2025年2月期 第2四半期		2024年2月期 第2四半期	
	実績 (百万円)	売上高 比率(%)	実績 (百万円)	売上高 比率(%)
売上高	2,820	—	2,814	—
売上原価	2,183	77.4%	2,263	80.4%
売上総利益	636	22.5%	551	19.5%
販管費	453	16.0%	422	14.9%
営業利益	183	6.4%	129	4.5%
経常利益	200	7.0%	134	4.7%
当期純利益	157	5.5%	108	3.8%

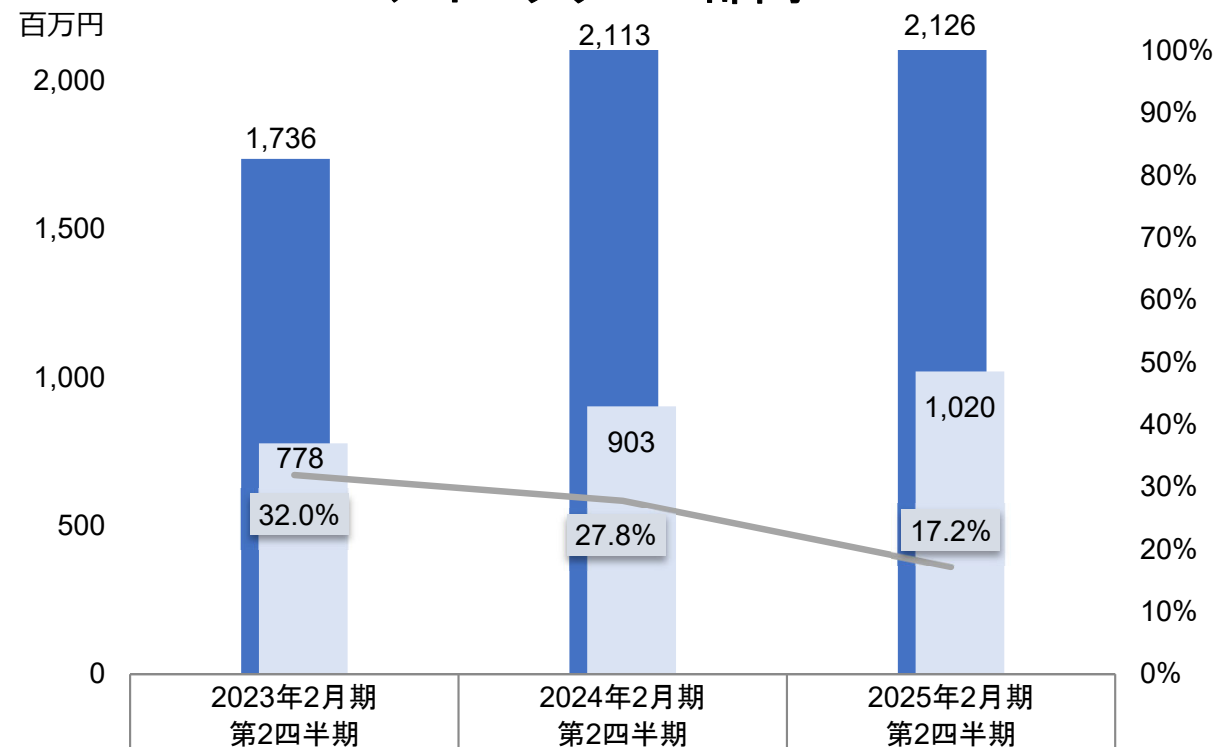
# 部門別業績：アイスクリーム



## ◆ アイスクリーム部門

- アイスクリーム部門は前年同期比0.6%増
- 前年と同様に全国的に平年よりも気温が高かった影響等もあり、かき氷製品、「もも太郎」等、氷菓が好調に推移。ビバオールや新製品も貢献
- 製造コスト増加に伴い価格改定を実施したことで利益率が改善。自社ブランド品の売上は前年同期比12.9%アップ
- OEM売上は、受託品の入れ替わりにより第2四半期累計期間で減少したが、自社ブランド品の製造・販売を強化し、柔軟に対応

## アイスクリーム部門



■ アイスクリーム部門	1,736	2,113	2,126
■ 自社ブランド	778	903	1,020
■ 森永乳業OEM割合	32.0%	27.8%	17.2%

# 部門別業績：仕入販売、和菓子、物流保管



## ◆ 和菓子部門

- 笹だんご、大福ともに前年同期並み

## ◆ 仕入販売部門

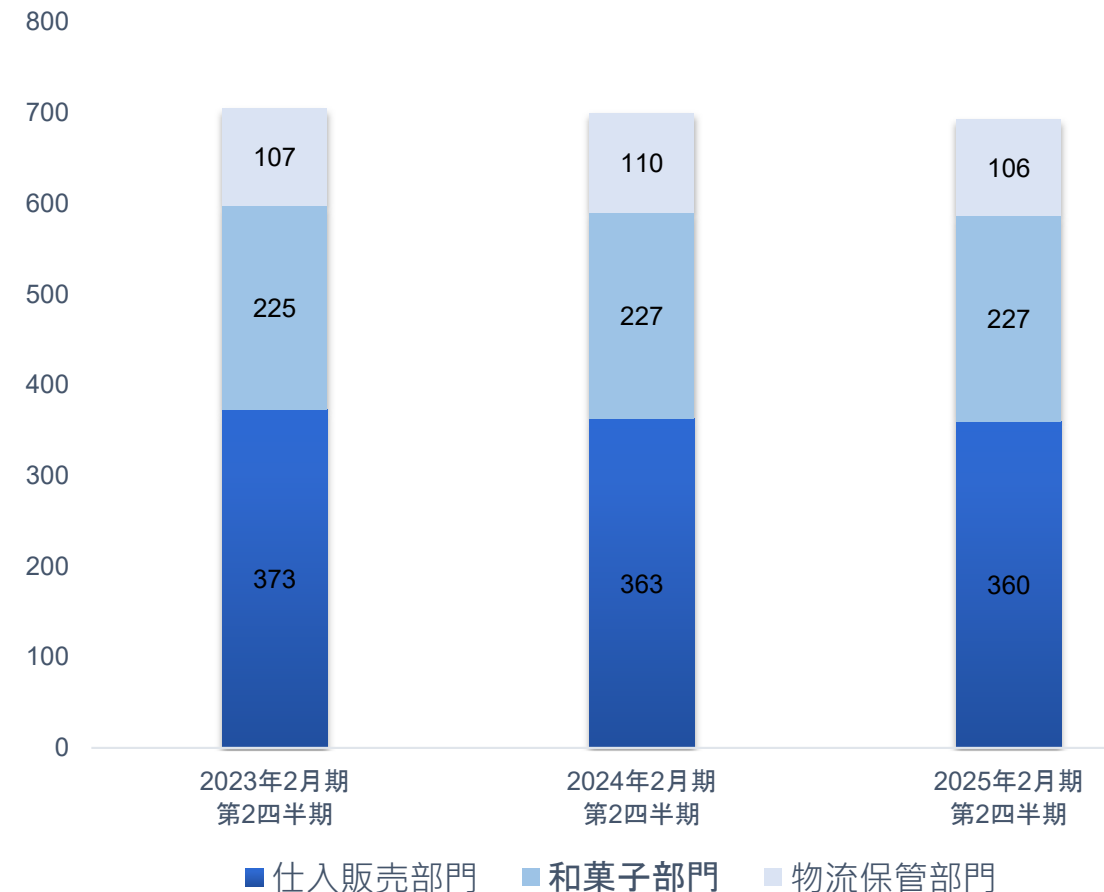
- 食品量販店等の取引先が仕入ルートをメーカーとの直接取引等に変更したことにより一部減少した一方で、佐渡の観光需要回復に伴い、ホテル・飲食店向けの業務用商品が好調に推移

## ◆ 物流保管部門

- 冷凍品の保管需要は高く、売上は堅調に推移

百万円

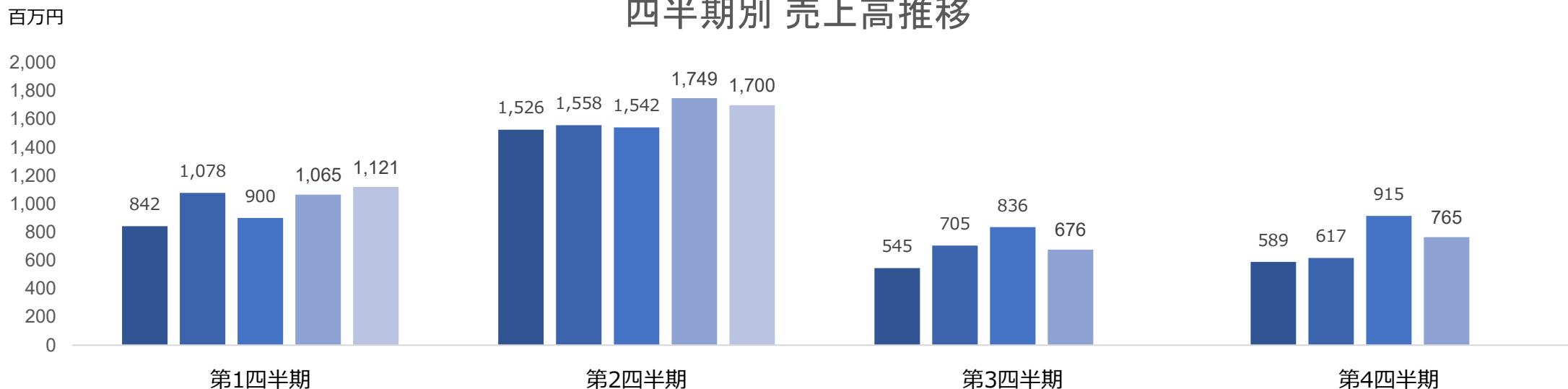
部門別：売上高推移



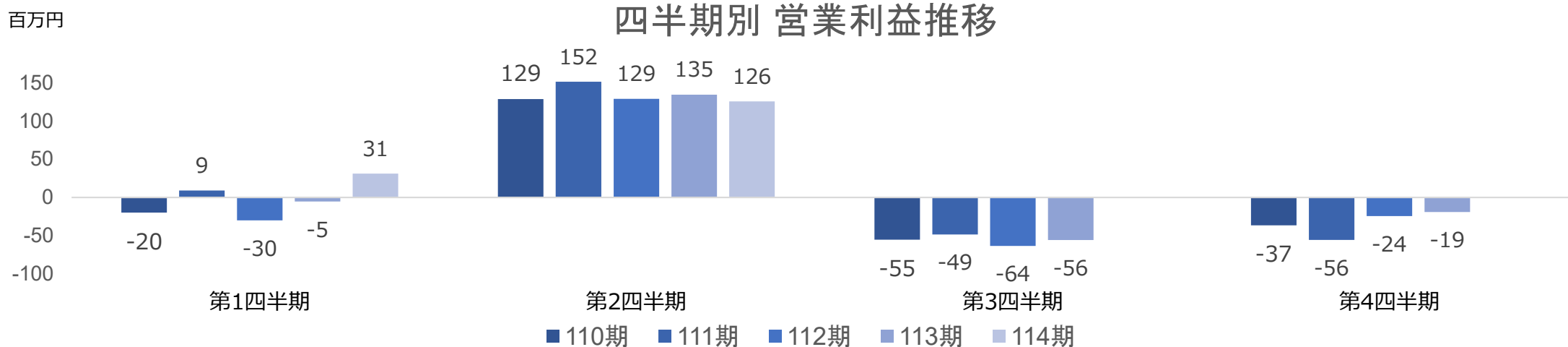
# 当社業績における季節性



## 四半期別 売上高推移



## 四半期別 営業利益推移



- ▶ 当社は夏季期間（第2四半期会計期間：6月～8月）に集中して需要が発生  
そのため、第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向

# 季節性業績に対する対策



当社は、繁忙期である第2四半期に売上・利益の大半を計上し、第3・第4四半期には営業赤字を計上するという状況が続いており、第2四半期以外においてどのような営業戦略を実行していくかが長年の経営課題となっている

当期におけるこれまでの対策の取組み

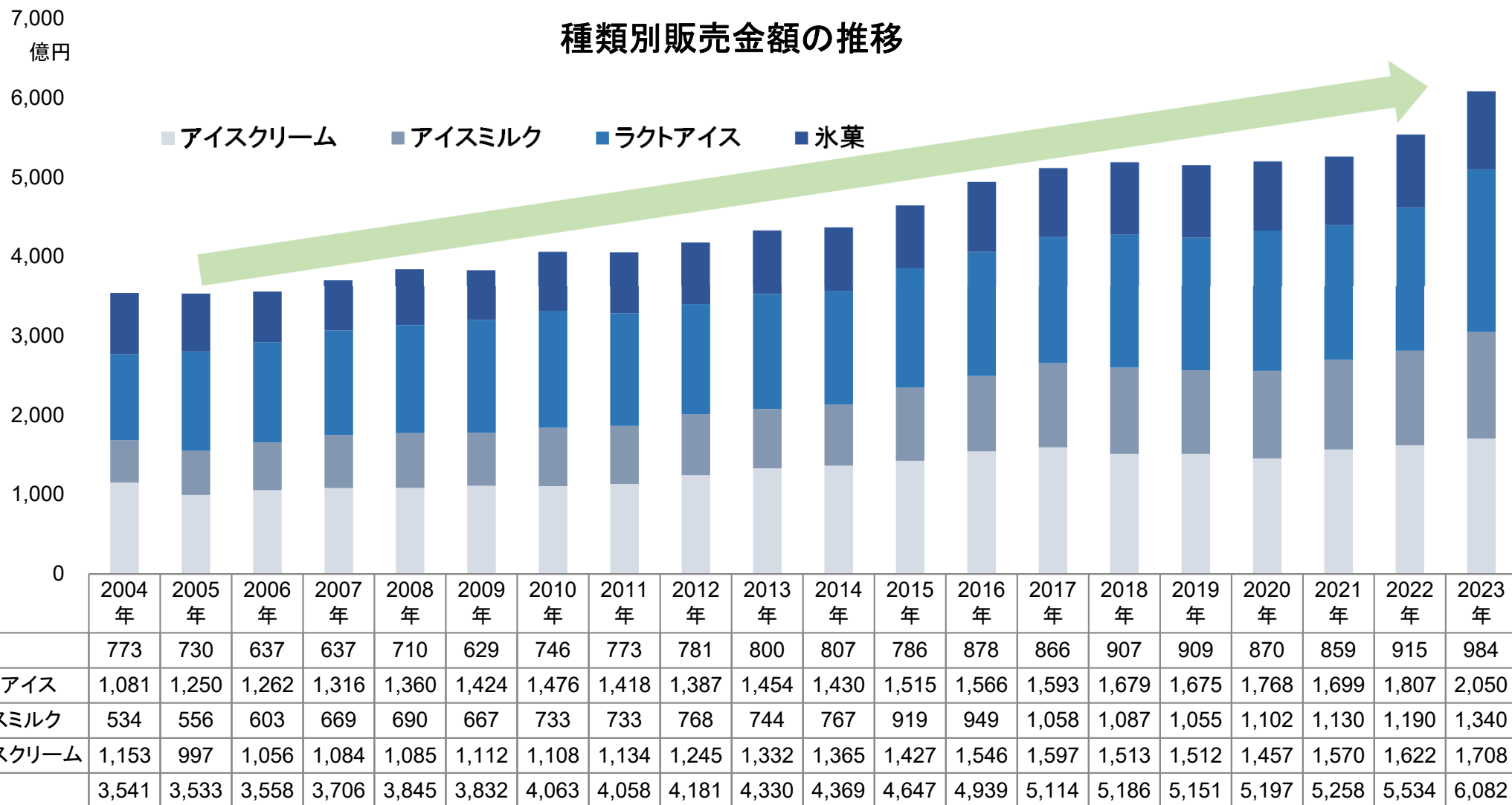
## ビバオールの集中プロモーション

昨年11月に復刻発売した「ビバオール」を、当社の「もも太郎」に並ぶ主力製品として定着させるべく、プロモーションに注力しております。「ビバオール」は、北関東から東北地方において、地域を代表するアイスとして長年愛されており、現在でも根強いファンを獲得しています。「ビバオール」の潜在的マーケットは、今後の当社の業績に大きく寄与するものと想定しております。



当期も引き続き、第3・第4四半期の業績改善に向け積極的な取り組みを継続してまいります。

# アイスクリーム販売：国内市場は成長基調が続く



Source：一般社団法人日本アイスクリーム協会「2023年度 アイスクリーム類及び氷菓 販売実績」より



## 2. 2025年2月期 業績見通し



2025年2月期の業績予想は以下のとおりであります。

### ◆ 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(通期)

期	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期純利益 (千円)	営業利益率	当期純利益率	1株当たり 配当(円)
予想：114期	4,300,000	70,000	81,000	68,000	1.6%	1.5%	17 (予)
実績：113期	4,256,002	54,586	66,171	61,412	1.2%	1.4%	17

通期業績予想につきましては、前回予想を据え置いております。

当中間会計期間は、自社ブランド品が好調であった反面、OEM売上が減少したため、下期に巻き返しを図るべく期首時点の生産計画から変更を進めております。

また、一部原材料価格の上昇が見込まれるなど不確定要素を多く含むことから、今後、精緻な見積りが可能となった時点で業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

※上記の業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 3. 当社における成長戦略



## ◆ 戦略的推進事項

2025年2月期から2027年2月期を対象とした「中期経営計画2027」を新たに策定し、以下の7項目を戦略的推進事項として徹底取り組みを実施することといたしました。事業環境等に左右されることなく常に安定的な利益の確保に努める経営戦略と、全社員が自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを両立し、さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

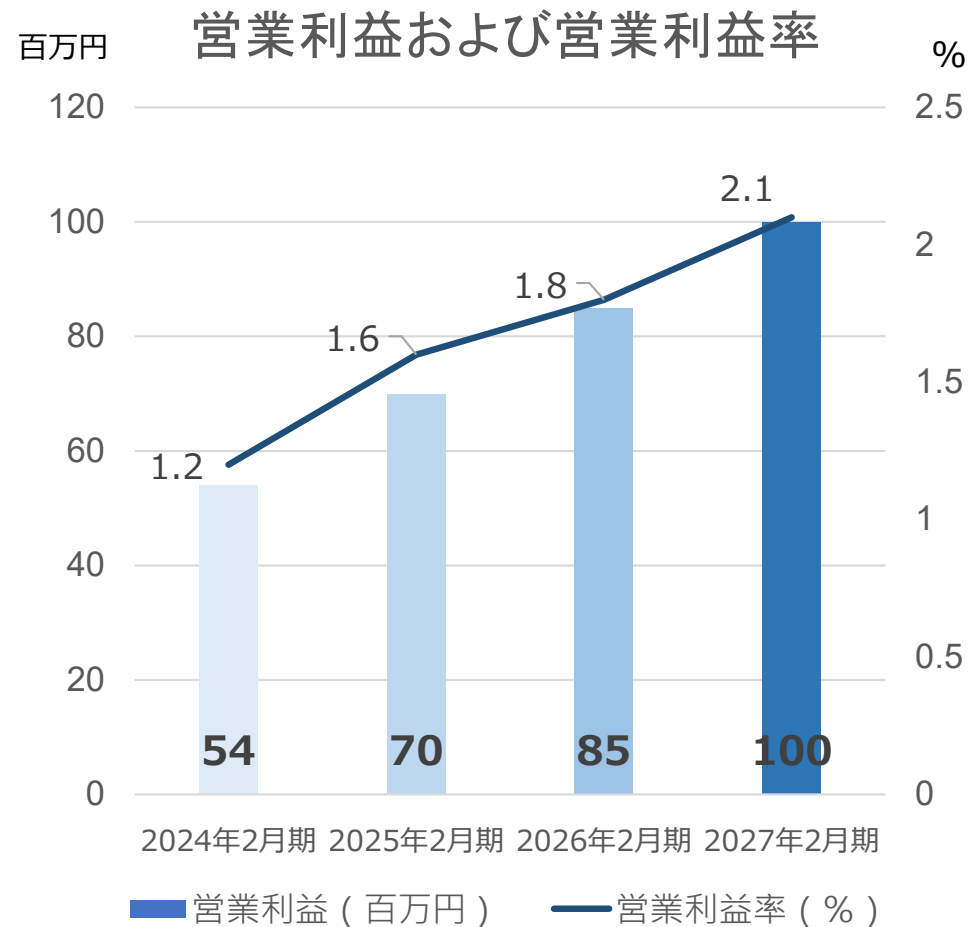
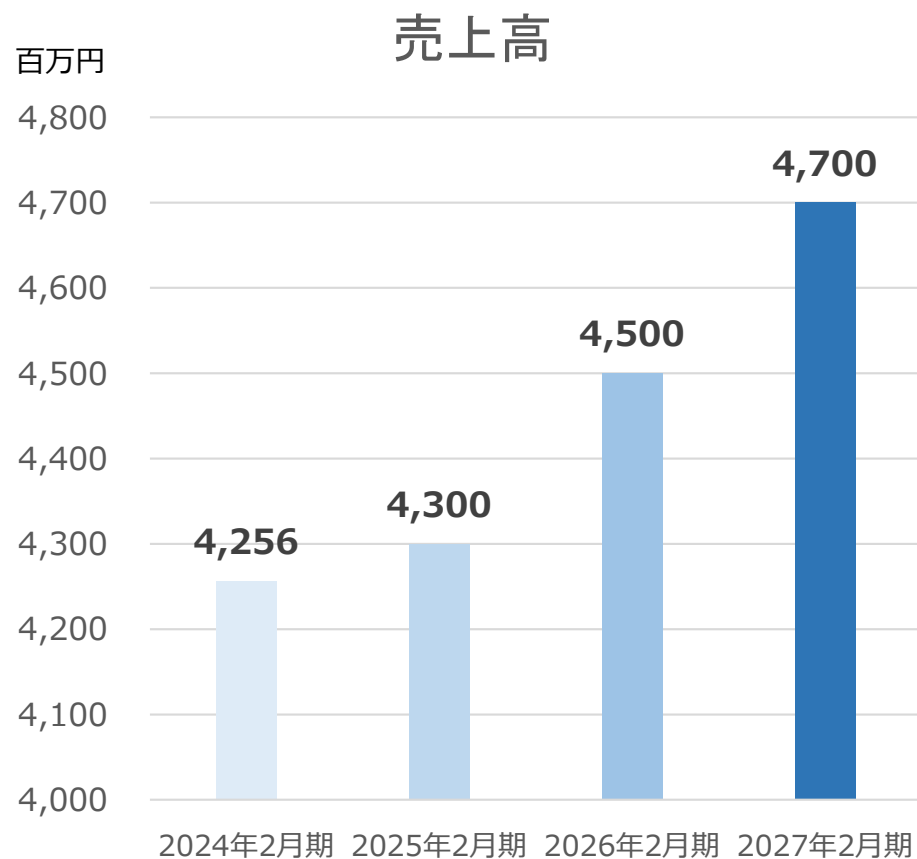
- ▶ 事業領域の拡大
- ▶ 販売単価を上昇
- ▶ 変動費の抑制・圧縮
- ▶ 販売数量アップ
- ▶ 新製品の展開
- ▶ 原価率引き下げ
- ▶ 費用対効果の改善

## 4. 中期経営計画について



2025年2月期～2027年2月期の3か年を対象期間とする「中期経営計画2027」を策定しております。

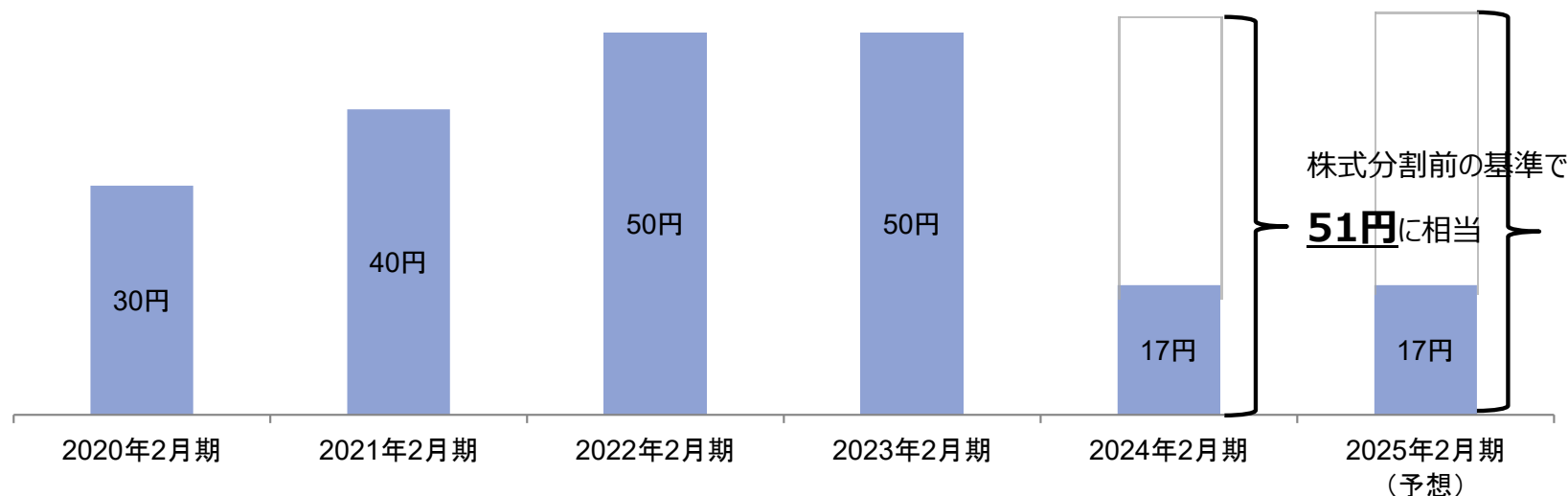
主な数値目標は以下の通りです。



## 5. 株主還元：配当推移及び配当方針

当社は、利益配分につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することが基本的な方針

### 1株あたりの配当金額の推移



※ 2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しており、2023年2月期以前の配当は株式分割前の基準で記載しております。

- 株主還元に関するベンチマークを用いた還元方針に関しては、現在の当社を取り巻く状況と今後の収益状況を見極めたうえで検討を行っていくことといたします

# 5. 株主還元：株主優待制度について



## 株主優待制度

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品をよりご理解いただくこと、また、当社株式への投資魅力を高め、中長期的により多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

毎年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様に対し、その所有株式数に応じて、当社製品詰め合わせをお届けいたします。

## 株主優待の内容

100株以上	2,000円相当の当社製品詰め合わせ
500株以上	3,000円相当の当社製品詰め合わせ
1,000株以上	4,000円相当の当社製品詰め合わせ



掲載写真は過去にお届けした株主様ご優待品の一例です。実際にお届けするご優待品の内容とは異なる場合がございます。

## 6. トピックス



### 旨みまるごとアイスバーシリーズリニューアル

ねっとり食感が人気のシリーズ「旨みまるごとアイスバー」をリニューアルいたしました。新たにマスカットとパイナップルがフレーバーに加わり、従来から人気のマンゴーフレーバーも、よりおいしくなりました。フルーツの芳醇な香りとジューシーさをお楽しみください。



### 新シリーズ「ゆきっこselect」登場

優しい味わいが特徴の新シリーズ「ゆきっこselect」を発売しました。爽やかな酸味のヨーグルト風味アイスバーと、甘さの中にほのかに感じるコーヒーの苦みが新鮮なカフェオレアイスバーの2種類をラインナップいたしました。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。

なお、使用するデータおよび表現等の欠落や誤謬につきましては、当社はその責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、本資料の無断複製・転載は、固くお断りいたします。

